

市内企業が手がける多目的コミュニケーションロボットの 実証実験を実施します

本市では、市内企業が手掛けるロボットの事業化に向けた、実証実験の支援を行っています。本年度の採択企業による多目的コミュニケーションロボットを用いた実証実験を、さがみはら産業創造センター内で行いますのでお知らせします。

1 実施期間

令和6年1月25日（木）から令和6年2月29日（木）まで設置

※1月29日（月）午後3時から午後4時30分まで、メディア等関係者向けにロボットの機能説明及び実演等を行います。

2 場所

さがみはら産業創造センター1階ロビー（緑区西橋本5-4-21 SIC-1 Startup Lab.）

3 実施事業者

コミュニアルテクノロジーサービス株式会社

（緑区西橋本5-4-21 さがみはら産業創造センターDesk10）

4 実証するロボット



「temi（テミ）」

- ① タッチパネルディスプレイと音声による円滑な対人コミュニケーションが可能
- ② 自動追従・障害物回避などの高度な自律移動（各種センサーとAIの連携）が可能
- ③ 遠隔操作やビデオ・音声通話機能によるコミュニケーションが可能
- ④ オープンプラットフォームのため、カスタマイズが可能
- ⑤ 小型（高さ1メートル）で静音、かつ親しみやすいデザイン

5 実証の内容

さがみはら産業創造センターの1階ロビーに本ロボットを設置し、来訪者への受付・案内業務を行い、職員や入居企業等へのヒアリングを通して、本ロボットの活用ニーズや課題等を明らかにし、その実用化・事業化に向けた改良に活かします。

6 取材について

1月29日（月）午後3時から午後4時30分まで、メディア等関係者向けにロボットの機能説明及び実演等を行います。取材を希望するメディアの方は、1月26日（金）までに産業支援課へご連絡ください。

7 その他

本事業は、株式会社さがみはら産業創造センターに委託しているサービスロボット実証実験支援事業において実施します。

「サービスロボット実証実験支援事業」について

(<https://www.sic-sagamihara.jp/robot/servicerobot>)



<参考>

コミュナルテクノロジーサービス株式会社では、米国temi社が開発したロボット「temi」を含む市販のサービスロボットやIoT機器を活用し、企業クラウドシステムとの連携制御をノーコードで実現するプラットフォーム“Buddiotte※”の開発と運用に取り組んでおります。

※「Buddiotte」について

- ① ビジュアルブロックを組み合わせるだけで、ロボットプログラミングが可能
- ② 企業のクラウドシステムからデータを学習でき、業務プロセスの最適化に貢献可能
- ③ 他クラウドサービスとの連携により、最新情報をリアルタイムで利用可能

問合せ先

環境経済局産業支援課

電話（直通）042-707-7154